

# 火 災 予 防

夏・秋 編

火災はちょっとした不注意によるものから自然災害によるものまで原因は様々です。これからの時季は、気温の上昇、台風や大雨による風水害が懸念されます。火災発生のリスクを減らし生命・身体・財産を守るため、日ごろから火災予防を心がけましょう。

市内の過去5年間の火災発生状況（各年1月から12月の件数） ※火災は増加傾向です！

種別	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
建物火災	10	10	14	17	19
林野火災	1	3	0	3	7
車両火災	4	4	3	3	2
船舶火災	0	0	0	0	0
その他の火災	1	5	7	5	8
合 計	16	22	24	28	36

令和2年中に市内で発生した主な出火原因

種 別	出 火 原 因
建物火災	ガス器具・電気器具の誤使用、たばこの不始末など
林野火災	枯草・ごみの焼却の拡大、火遊びなど
車両火災	交通事故など
その他の火災	枯草・ごみの焼却の拡大

※火災原因調査では、目撃情報や物的証拠が出ないもの、または複数の要因が疑われ、絞り込みが困難な事案もあり、原因が不明となることもあります。

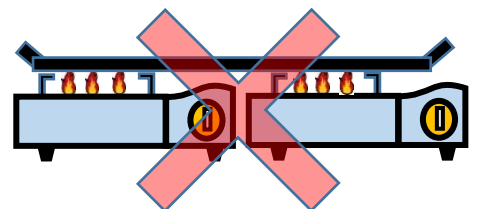
～これからの季節に気を付けておきたいこと～

① **ガス器具の誤った使用方法による火災に注意**

カセットこんろやガスバーナーなどを使用した屋外での火気の使用が増える時季です。使い方を間違えると火災の発生や火傷の原因となりますので注意しましょう。

注意事項

- ・カセットこんろのサイズにあった調理器具を使用する
- ・建物や可燃物の近くでガスバーナーを使用しない
- ・ガスバーナーを使用した後は、安全な場所で冷ます
- ・風の強いときは、屋外での火気の使用は中止する
- ・使用前に取扱説明書を十分に確認する



カセットこんろに合わない調理器具の使用や、並べて使用した場合、カセットボンベ部分が熱せられ破裂することがあります。



※ BBQも上の注意事項を守って安全に！  
使用後の炭は、水に浸すなど十分に消火しましょう。

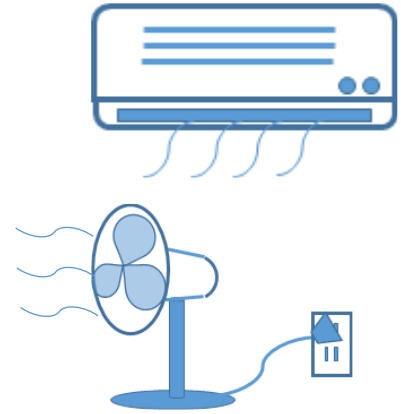
## ② 夏場に使用する電気器具からの出火防止対策

夏場に使用する電気器具で、購入から何十年と経過しているものは、経年劣化によりモーター部分やコンデンサ部分に負荷がかかり、出火する恐れがあります。

- 前に比べて音大きい
- 動きが悪い、不規則
- 冷えない
- 焦げ臭い
- 本体が異常に熱い
- スイッチを入れても動かない

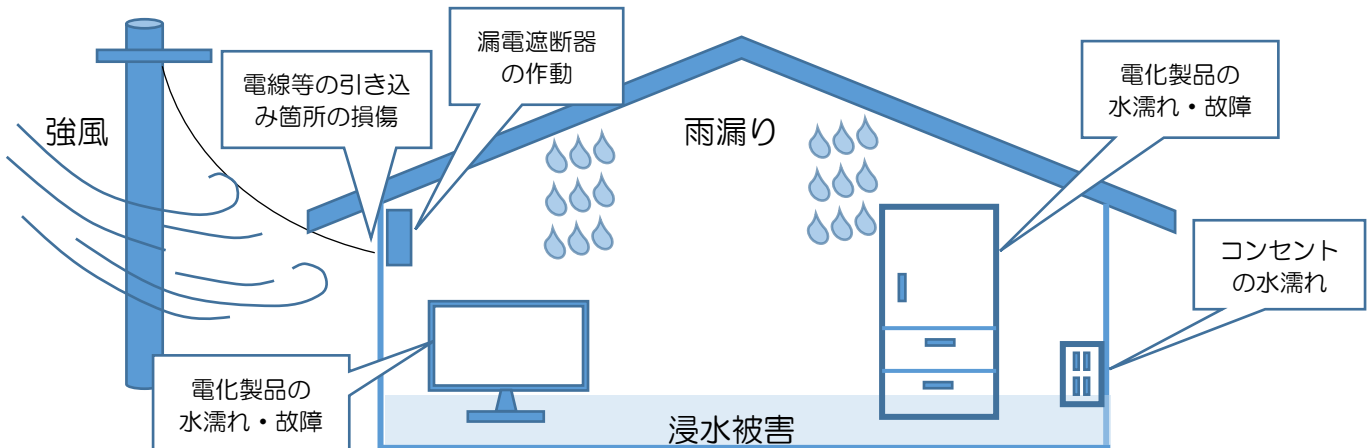
上記のような症状がある場合には、使用を中止してコンセントを抜き、近くの電気店、メーカーのホームページやお客様相談センターに問い合わせをしてください。

しばらく使用していなかった電気器具は、コードが痛んでいないか、本体に損傷がないか、ほこりが付いていないかなど、使用する前または定期的に確認をお願いします。



## ③ 停電復旧に伴う出火防止対策

過去の台風被害では、大規模な停電が発生し、停電復旧後に建物火災が発生しました。地震を含む自然災害等で避難する場合や、しばらく自宅を留守にする場合には、電気器具のコンセントを抜いてブレーカーを落とすようにしましょう。



ブレーカーを入れる際には、家の周囲の引き込み線や屋内の電気器具が損傷していないか、または水に濡れていないかなどを確認をお願いします。

また、一旦水に濡れた電気器具は使用しないようにしてください。

ブレーカーの漏電遮断器が作動している場合には、屋根裏や壁の内側にある電気配線に損傷が疑われますので、漏電遮断器が落ちている場合には電気工事店などに連絡するようお願いします。

**住宅用火災警報器「10年経ったら取り換える！」**  
夜間など就寝中の火災を早期に発見し避難できる  
よう**住宅用火災警報器の維持管理**もお願いします。

君津市消防本部 予防課  
53-1904